

# カトリック河原町教会だより

## 2016年11月

### 2016年 洛東ブロック司教訪問 山科教会に集う

今年度の洛東ブロック司教訪問は、10月2日に山科教会で行われました。9時から大塚司教とモンロイ神父の共同司式でミサが始まり、伏見・桃山・河原町教会からも信徒が集いました。ミサ後の司教講話ではオランダの画家レンブラントの『放蕩息子の帰還』の絵を通して、神のいつくしみについて興味深く学ぶことができました。

(ミサ説教要約と講話内容は2ページに掲載：編集委員)



### 右近 列聖運動マークの紹介と解説 ～来年2月の列福式を前に～

ブロック司教訪問の講話の中、大塚司教から右近列聖運動のシンボルマークについての解説もありました。



制作者: Sr. 北爪悦子  
(師イエズス修道女会)

◆七曜星…北斗七星を象った高山家の家紋で、右近の信仰を育んだ家を表し、洗礼・聖体・ゆるし・堅信・婚姻・叙階・病者の塗油の「七つの秘跡」と重なる。また、右近を導いた聖霊の七つのたまもの(上智・聡明・賢慮・勇気・知識・孝愛・主への畏敬)のシンボルでもある。十字架から発して七曜星を包む緑は、永遠の命への希望を意味する。

◆十字架…キリストに倣い、神と人々に仕えた右近の人生のシンボル。洗礼名「ユスト」は「義の人」を意味し、縦木は右近の「神との交わり」を、横木は神を第一とし、人々に仕えた右近の「人々との交わり」を表す。◆三つの輪…三位一体の神と人々との関わりの中で、揺るがない信仰へと導かれ、広がっていった右近の生涯を示す。輪の内側からの水色と濃い青は右近の聖性の深まりを、外側の朱色は右近の深い祈りと命をささげるほどのキリストへの燃える愛を表す。400年前の日本の教会の「世の光」として誕生した右近は、今日の教会のわたしたちを照らしている。(参考・カトリック中央協議会HP)

### 「いつくしみをあかし、宣教する教会」教皇フランシスコ「世界宣教の日」メッセージから

教会は、これからキリストを信じる人の「母」でもあります。したがってわたしは、主をまだ知らない人々が主と出会い、主を愛するための助けとなる母のような、こうしたいつくしみ深い行いを神の聖なる民が続けるよう望みます。信仰は神のたまものであり、改宗を求める行いの成果ではありません。信仰はむしろ、キリストをあかししている宣教者の信仰と愛によって育まれます。



イエスの弟子は世界中の道を旅するにあたり、わたしたちの主がすべての人々に抱いているような、限界のない愛を持たなければなりません。わたしたちは、主のいのちと愛という、主から与えられた、もっとも素晴らしく偉大なたまものを告げ知らせています。(2016.10.23世界宣教の日)

(引用:カトリック中央協議会HP)

### 10/2 大塚司教ミサ説教要約 ルカ17・5～10

今日の福音のなかで、弟子たちは「わたしどもの信仰を増してください」とイエスに言っています。しかし、信仰は「量」ではありません。「あるか、ないか」です。また「わたしどもの」と、「わたし」が主体になっているのは間違いです。信仰は自分にあるのではなく、いただくものだからです。

この福音の前の箇所には、兄弟が罪を犯したら何度でも赦しなさい、というイエスの教えが出てきます。赦すことは人間にとって無理難題であることから、弟子たちはイエスに「信仰を増してください」と願った…そこで、イエスは今日の福音の「からし種一粒ほどの信仰」の話をしたのです。

神は「いるか、いないか」を問うものではなく、また「信仰があるのに、なぜ物事がうまくいかないのか」といった問いかけも良くありません。わたしたちに問われるのは「あなたは神に信頼をおいて生きているか」ということです。信仰は自分のうちにあるものではなく、神が働いてくださるものです。神に自分を委ねて生きていくことこそが信仰です。しかし、往々にして「自分」というものが邪魔をしてしまいます。そのような自分の姿に気づいたら、素直に謝り「赦せる人にしてください」と神に祈るとき、神はわたしたちのうちで働いてくださいます。それは、この「いつくしみの特別聖年」の一番の教えであるとも言えるでしょう。

現代社会では、よく「自己責任」ということが言われ、能力や努力が足りないと迫られ、多くの人には行き詰まりを感じています。人のことを気にもかけない自己中心性の社会は、冷たいものです。家庭問題や自死、いじめ等社会の中にはさまざまな問題がありますが、この世に生まれてきた子どもたちは皆、神と人々の愛のうちに生き成長していくものです。

わたしの中で神が、イエスが、本当に働いてくださっているでしょうか。もしも、自分でその機会や場所をつぶしているとしたら、それは、わたしが自分の力で何とかできているからではないでしょうか。「からし種一粒ほどの信仰」というみことばは、実に励ましのみことばです。「からし種一粒ほどの信仰なら自分にもあるだろう」…そう思えば良いのです。信仰とは、神が働かれることであり、たまものです。そのとき人は真に謙虚になれるでしょう。

高山右近の列福式も近づいています。「右近の霊性とは」を一言で言うならば、「100パーセント、自分のうちに働かれる神を知っていた」ということに尽きるのではないのでしょうか。



クロガラシ(アブラナ科)  
(洋がらしはこの種子。成長すると3m近い木ようになる)

(要約:編集委員)



### 司教講話より レンブラントの絵から知る「神のいつくしみ」 (1606～1669年)

#### ◆父の手(神のいつくしみ)

右…女性の手のよう(母性)  
左…男性の手(父性)を表す

#### ◆父の両肩

親鳥がヒナを温めるように広げている。無条件に包みこむ神の愛を表す

#### ◆父の赤いマント

兄と同じマント。兄にも存分の愛を注いでいるし「わたしのものは全部お前のものだ」(ルカ15・31)

#### ◆兄の目

自分を正しい者として、帰って来た弟を高いところから見下ろす。神より高い所に立っている

#### ◆兄の手

組んだ両手は父と弟への強い拒絶を表す

#### ◆兄の心

兄は父のもとにいたが、心は奴隷的で、神のそばにいる喜びから遠く離れていた

女用人

女用人

父  
弟

兄

男用人

#### ◆弟

父に甘える幼子のような姿。赤ん坊が着るような白い服を着ている

#### ◆弟の足

足裏は苦労を経た心身の悲惨さを表し、左足(母性の手の側)は靴が脱げている。当時の奴隷は裸足であった

#### ◆帰った時の弟の心

父の無条件の赦しと愛をまだ確信しきれずに恐れを抱いていた

#### ◆弟の腰の剣

父の子としての自覚を表すもので、すべてを失っても昔から肌身離さず持っていた短剣だけは捨てずにいた

#### ◆父が着せる良い服

奴隷状態から自由な人への回復の表れ。神の無条件の赦しと愛を表す



レンブラント画  
「放蕩息子の帰還」  
(エルミタージュ美術館)

## 「2016.WYDクラフ大会」の報告会を開催

10/16(日) 12:00~13:00

この夏、ポーランドのクラフで開催された「世界青年の日」大会(WYD=ワールドユースデー)に参加したキム神父と青年6名による報告会が行われました。貴重な体験をしてきた皆さんの報告は、時間をかけて準備され、資料展示や写真もたくさん見ることができました。ポーランドでの活動や印象的だったこと、教皇様のこと、アウシュビッツを訪れた話などに、約40名の参加者は興味深く耳を傾けました。最後に質疑応答があり、普段はあまり接する機会のない青年たちとの分かち合いの時間をもつことができました。「主に従う教会の群れが、皆ひとつになって進んでいきますように」と、そんな思いが湧いてきた実り多い時間となりました。

わたしたちは皆、神の優しさとあわれみのメッセージを人間家族全体に伝えるために、宣教する弟子として「出かけて行き」、各自の才能と創造力、知恵、経験を惜しみなくさげよう求められています。

(2016「世界宣教の日」教皇メッセージから)



キム神父から青年たちの紹介



「ごらんよ空の鳥」をギター伴奏で♪



資料展示/右・大会参加司祭に贈られた祭服



アウシュビッツの話(画像/コルベ神父)

## 洛東ブロック長期計画

(2016年4月1日~2021年3月31日)

「洛東ブロックは、2026年の京都南部地区小教区統合を見据え、2016年4月からの5年間、各小教区固有の歩みを尊重しながら、ブロック共同体づくりを進めていく。」

そのために

1. ブロック全体に開かれた分かち合いの場を設け、小教区間のつながりを深めていく。
2. 各小教区特有の学び、祈り、活動(地域との交わり、国際協力など)、交流行事をブロック共同体の福音宣教活動として共有する。
3. ブロック内小教区の多様性を活かしながら、ブロック全体として取り組める福音宣教の可能性を模索する。

## 河原町教会10月評議会議事録要約

2016年10月9日(日)

**報告事項**=①敬老懇親会:9/18敬老感謝ミサ。雨天でミサ参加予定者の欠席もあったが、懇親会には全員出席②司教ブロック訪問:10/2山科教会。河原町からの参加者は12名③小教区評議会交流会:10/1にヴィリオンホールで開催(テーマは「共同宣教司牧小教区共同体の活性化」)参加者64名

**各部会報告**=**(1)典礼部**=①10/23(日)14:00「納骨堂・永代納骨者追悼ミサ」司式:花井神父・北村神父。河原町から侍者1名奉仕②11/6(日)14:00「教区合同追悼ミサ」司式:大塚司教・花井神父・北村神父(衣笠教会聖堂)侍者2名と教会聖歌隊奉仕③10/15「教区典礼研修会」開催予定。テーマ「ミサと日常」。講師は奥村神父(ヴィリオンホール)**(2)財務部**=①9月部会開催②2016年度9月末の決算報告。2017年度5部会提出予算(11/20締切)を11月部会で検討。教会維持費未納・滞納者策対策を継続**(3)教育部**=**①土曜学校**:①10/8「みんなでロザリオ」②10/22ウォーカーソン支援先のお話を聞く予定③10/29クリスマス会の準備開始**②中高生会**:10/16遠足予定(福知山教会と福知山城)**③信徒養成**:①待降節黙想会11/26(土)指導:中川博道神父②「主日の福音を読む集い」毎週日曜日9:30~10:15(3F・301)**④青年**:①10/8~9望洋庵で教区青年のための黙想会開催 ②11/12~13 YES開催(西院教会で/教区青年センター主催)13日は河原町教会ミサに参加③11/27(日)14:30ブロック青年のためのミサと交流会予定**⑤ブロック合同教育部会**:10/23(日)14:00開催予定**⑥キリシタン研究会**:11/15(火)天理大学図書館キリシタン関係文書の見学会予定**⑦ザビエル訪れ会**:財務部と訪問先の情報交換を実施。訪問は新名簿作成後に開始**(4)施設管理部**=10/23部会開催予定。地下トイレ清掃協力に感謝**(5)広報部**=ウェブサイト上の「教会用語」に関する解説付加の提案がなされた。**(6)ぶどうの会**=次年度はバザー開催を年1回とする。

**行事予定**=4ページ行事予定欄に記載

**協議事項**=**(1)10/22洛東ブロック会議**:①河原町教会活動の現状報告をする。②2016年度計画実施状況報告と2017年度年間計画を検討**(2)2016年度会計・2017年度予算**:9月までの会計報告=全体的には前年より減収**(3)2017年度役員選挙**:前年度の選挙管理委員に依頼予定**(4)新聖堂建立50周年記念行事**:11/19(土)第3回実行委員会開催予定**(5)クリスマス実行員会**:①12/18(日)14:30チャリティーコンサート開催予定②12/24(土)18:30「クリスマス市民の集い」開催予定③10/15(土)次回実行委員会を開催予定

**その他**=高山右近列聖に向けて:『右近と歩む祈りの旅』を用いた「集い」を開催予定

◇ 2016年11月・12月の行事予定 ◇  
(12月は予定です。変更の場合があります)

月	日	曜日	行事予定
11	1	火	諸聖人の祭日
	2	水	死者の日 諸死者追悼ミサ 18:30
	3	木	第37回京都南部ウォーカーソン 9:30~14:30
	6	日	七五三祝いミサ 10:30 評議会11月例会 ミサ後 教区物故者追悼ミサ(衣笠教会) 14:00
	13	日	「いつくしみの扉」閉門ミサ(司教ミサ) 10:30
	20	日	主であるキリスト「いつくしみの特別聖年閉幕」 聖書週間(27日まで)
	26	土	河原町教会待降節黙想会 10:00~16:00
12	4	日	評議会12月例会10:30ミサ後 2017年度教会役員選挙投票日 宣教地司祭育成の日
	8	木	無原罪のマリア
	11	日	ぶどうの会ミニバザー10:30ミサ後
	18	日	河原町教会主催 クリスマスチャリティーコンサート 14:30
	24	土	クリスマス市民の集い 18:30 主の降誕夜半ミサ 21:00
	25	日	主の降誕 ミサ 7:00・10:30(司教ミサ)・12:00(英語ミサ)

## 待降節黙想会

テーマ「注意深く、主を待ち望む」

日時：11月26日(土) 10:00~16:00

講師：中川 博道 神父(カルメル会)

場所：河原町教会聖堂

持ち物：聖書 筆記用具

★個人黙想の間に ゆるしの秘跡を受けられます。

[プログラム]

10:00~11:00 第1講話

11:00~12:00 個人黙想

12:00~13:00 昼食(各自)

13:00~14:00 第2講話

14:00~15:00 個人黙想

15:00~16:00 ミサ

★1F集会室にお茶の準備がありますので、ご利用ください。



カトリック河原町教会主催 熊本・東日本被災地支援

## クリスマス チャリティーコンサート

12月18日(日) 14:30開演 (14:00開場)

河原町教会聖堂 / 入場料:1,000円 (小学生以下無料)

[出演]

★女性合唱団 ミルテンクランツ

指揮：成毛 敦・ハープ伴奏：山本 真帆

★ハープ独奏 山本 真帆

★混声合唱 河原町教会聖歌隊

指揮：東 朝子・オルガン伴奏：桑山 彩子

★パイプオルガン演奏 桑山 彩子



## 河原町教会 ミサの時間

日曜日 (主日のミサ)

7:00

10:30

\*英語ミサ 12:00 (第2・4週)

月曜日 6:30

火曜日 6:30 18:30

水曜日 6:30 18:30

木曜日 6:30

金曜日 6:30 18:30

土曜日 6:30

18:30 (主日のミサ)

## 信仰の学びのお知らせ

### ◇信仰入門講座◇

(1F集会室 / 3F応接室)

火曜日 10:00 (第4・5・祝休) モンロイ神父(1F)

水曜日 10:00 一場 修 神父(1F)

19:00 (第1・祝休) 一場 修 神父(1F)

木曜日 15:00 (祝休) 一場 修 神父(1F・3F)

金曜日 15:00 シスター庄子(3F)

19:15 村上 透磨 神父(1F)

### ◇洛東ブロック信徒養成講座◇

【河原町教会】第1水曜日19:00~20:00 一場神父

【山科教会】毎金曜日9:30ミサ後 モンロイ神父

【伏見教会】毎火曜日10:00ミサ後~11:30

一場神父

【桃山教会】第1・2木曜日19:30~20:30

一場神父

### ◇主日の福音を読む集い◇

(3F・301号室)

毎週日曜日9:30~10:15

※ミサ前にその日の福音を読む集いです。

どなたでもどうぞ。

### ◇南部地区信徒養成講座◇

(1F集会室)

北村 善朗神父「祈りを学ぶ」

11月17日(木) 14:00

12月15日(木) 14:00

テキスト:『カトリック教会のカテキズム要約』

### ◇レクチオ・ディヴィナ◇

※しばらくの間休会します。「主日の福音を読む集い」にご参加ください。

カトリック河原町教会だより 2016.11

編集:カトリック河原町教会 広報部

担当司祭:一場 修

住所:〒604-8006 京都市中京区河原町三条上る下丸屋町423

電話:075-231-4785 ファックス:075-211-8021

URL:http://CatholicKawaramachi.Kyoto



教会公式ウェブサイト



教会公式フェイスブック